



第2回 全国高校生

プレゼン甲子園

プレゼンテーションスキルが必須のこの時代

誰が一番自分の意いを伝えることができるのか

集え！ 全国の高校生諸君

第2回は対面で開催！

おも
念いを一番伝えられるのは、誰だ？

応募資格 高校生 1チーム 3人まで（個人でも可）

テーマ 地域社会の持続可能性への提言

予選・決勝共通：地域社会の持続可能性を実現するには



詳細はプレゼン甲子園
サイトにアクセス！

日 程 6/1(水)～6/10(金) 申し込み・予選動画提出 (17:00まで)

7/22(金) 予選通過チーム発表 (10チーム)

8/20(土) 決勝大会 (ハピリンホール：福井県)

審 査 予選：動画審査 テーマに沿ってプレゼン動画を作成し、提出していただきます（プレゼン時間3分）

決勝：対面審査 決勝テーマに沿ってプレゼンし、質疑応答をします（プレゼン時間5分）

表 彰 最優秀賞 1チーム 副賞：福井県特産品一人 5万円相当
優秀賞 3チーム 副賞：福井県特産品一人 1万円相当
特別賞 1チーム 副賞：福井県特産品一人 5千円相当
奨励賞 5チーム 副賞：福井県特産品一人 3千円相当

※福井県特産品
越前ガニ、若狭カレイ、甘エビ、
若狭牛などから選択できます

※ 参加賞として決勝大会出場者全員に福井県立恐竜博物館年間パスポートを進呈します



全国高校生プレゼン甲子園は、**おも**テーマについて深く考察し、自分の考え方や想いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図ることを目的として開催します。

応募規定

高校生 1 チーム 3 人まで応募してください（個人でも可とします）

- ※令和 4 年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3 年生まで）に在籍している方
- ※メディアへの顔、氏名、学校等の掲載について同意できる方
- ※決勝大会に参加可能な方
- ※同一学校でチームを組み、応募は一人 1 回とします

テーマ

地域社会の持続可能性への提言

予選・決勝共通テーマ：地域社会の持続可能性を実現するには

過疎化・高齢化、地域コミュニティの衰退、中心市街地の空洞化、地場産業の衰退、大都市圏一極集中による地方都市の衰退など地域社会は様々な課題に直面しています。そこで「持続可能な地域社会」とは何か“定義”を考えた上で、現状はどうなっているのか、その現状に対しておこすアクションについて提案してください。

応募方法

①プレゼン資料作成

テーマを研究し、プレゼンの構成を考える

- ※プレゼンに使うツールは自由です。PowerPointなどのプレゼンターアプリにこだわらず、スケッチブックに手描きしたものを使うなど、自分の考えを一番伝えることができる方法を工夫してください。
- ただし、プレゼン動画撮影後の動画編集は不可とします。（例：文字テロップの挿入、効果音の追加など）

②動画を撮影

プレゼンテーションを動画で撮影する

- ※予選のプレゼン時間は 3 分以内
- ※スマートフォンで撮影も OK
- ※発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）
- ※プレゼン動画は、通じて撮影し、編集はしないこと

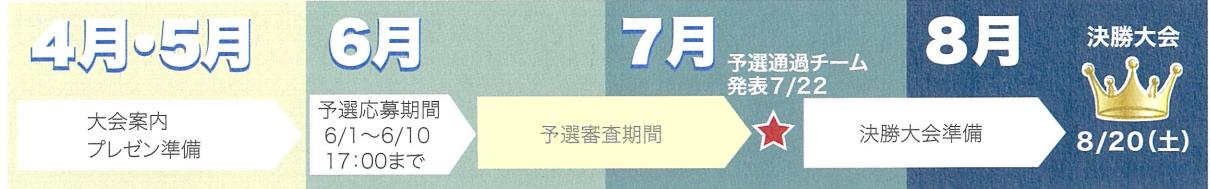
③応募フォームからアップロード

応募フォームに必要事項を記入し、データをアップする

- ※データ形式、アップロードの方法については④「動画撮影・投稿の方法」を参考にしてください
- ※データが大きい場合は「ギガファイル便」などを利用し URL を記入

公式サイトに
①「プレゼンテーションの基礎」
②「プレゼン資料の作り方」
③「プレゼンの話し方」
④「動画撮影・投稿の方法」
の動画がありますので、参考にしてください（各 10 分程度）

スケジュール



審査

予選：動画審査

応募動画を審査し、決勝進出 10 チーム選出します

決勝：対面審査および質疑応答

決勝大会出場者が参集し、プレゼンテーションを実施
その後、質疑応答を行います

審査基準

- ①テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
- ②メッセージの伝わりやすさ、構成
- ③印象的かつ効果的なスライド等のビジュアル
- ④話し方、訴求力、説得力
- ⑤質疑応答（決勝大会のみ）

お問い合わせ

専用サイトから
お問い合わせください



審査委員長

前田 鎌利 （一社）プレゼンテーション協会代表

全国高校生プレゼン甲子園

実行委員会事務局

〒910-8580

福井県福井市大手 3 丁目 17 番 1 号
(福井県教育庁 高校教育課内)